

遠野市土砂・浸水ハザードマップ 【遠野町版】

Tono City Landslide and Flood Hazard Map 【Tono-cho】

土砂災害や水害から自らの命、家族の命を守るために！

大雨による土砂災害や水害から命を守るために、日頃からの備えや大雨の際の気象情報や遠野市からの避難情報を入手し、避難行動に結び付けることが重要です。このマップはお住まいの地域の土砂災害や水害の危険性のある区域を示していますので、事前に把握し、災害への備えにお役立てください。



令和4年4月発行
保存版

土砂・浸水ハザードマップの使い方

～適時適切な避難を行うために、家族や地域でステップ①～③を確認しましょう～

ステップ① 自宅や学校・職場には、どのような危険があるか確認しましょう

- 自身等が土砂災害の起こりやすい場所か浸水被害の可能性がある場所かを確認しましょう。
- 指定緊急避難場所又は最寄りの安全な場所を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。

ステップ② 市から発令される避難情報、防災情報について確認しましょう

- 各家庭がどのタイミングで避難行動を取ることが望ましいか認識しましょう。（=避難情報の内容・解説へ）
- 携帯電話等で防災情報を入手できるようにしておきましょう。（=防災メモの「防災情報の入手先」へ）

ステップ③ もしもの時に備えて考えておきましょう

- 遠野市防災マップ（平成26年3月作成）の「非常時出品の準備＆チェック」などを見ておきましょう。
- 緊急的な対応について事前に考えておきましょう。

- 指定緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる場所・建物（近隣の堅牢な建物、川や山から離れた小高い場所）へ
- 外出する危険思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋（屋内のより高いところ、山からできるだけ離れた部屋）へ

避難情報の内容・解説

土砂災害や水害から身を守るために、遠野市から発令される避難情報は、以下のものがあります。

警戒レベル	避難情報等	発令時の状況	るべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	すでに安全な避難ができる、命危險な状況。	命の危険直ちに安全確保！ □ 今いる場所よりも可能な限り安全な場所へたどり着く。 □ 指定緊急避難場所への移動が命に危険を及ぼしかねない状況の場合は、「近くの安全な場所」へ避難しましょう。
警戒レベル4	避難指示	過去に発生した重大な災害に匹敵する状況。	危険な場所から全員避難 □ 全ての避難を完了してください。 □ 全ての避難を完了した場合、火災が悪化する前に避難を完了してください。
警戒レベル3	高齢者等避難	災害の発生が予想される気象情報を発表されている状況。	危険な場所から高齢者等は避難 □ 避難を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）との支援者は避難を開始しましょう。 □ その他には、情報に注意し、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難しましょう。

※1 災害の発生を把握できない場合、警戒レベル5は緊急安全確保は必ずしも発令されるものではありません。

※2 「近くの安全な場所」：指定緊急避難場所ではないが、近くのより安全な場所・建物

※3 「室内安全確保」：建物内において、より安全な部分への移動

浸水深の目安	・5.0～10.0m未満	・3.0m以上に浸水	・2階以上に浸水	・水流が強い場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。
	・3.0～5.0m未満	・0.5m～3.0m未満	・床・上段水～2階の床下まで浸水	・水流が強い場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。
	・0.5～3.0m未満	・0.5m未満	・水流が強い場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。	・強水流の中を歩くことは危険
	・0.5m未満	・0.5m未満	・大人のひざ下程度	・水流が強い場合には、木造家屋が倒壊する危険がある。

遠野市土砂・浸水ハザードマップについて

○この地図は、大雨によって発生する土砂災害や浸水の危険区域、過去の浸水範囲（平成28年台風第10号）、各地区的避難場所等を示したもので、

○猿ヶ石川、早瀬川、来内川の浸水想定区域は、岩手県が定めたもので、想定し得る最大規模の大河（各河川の2日間の流域平均雨量が猿ヶ石川で358mm、早瀬川で497mm）が降った場合を想定しています。

○要配慮者利用施設とは、「社会福祉施設、学校、医療施設等の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設」とされています。

○急傾斜地危険エリア・土石流危険エリアは、岩手県が土砂災害防止法により指定した土砂災害警戒区域と同様に基づく基礎調査が完了し、区域指定が未完了の区域を示しています。

○この地図に表示されていない危険区域でも土砂災害、浸水被害が発生する場合がありますので注意が必要です。

○各個人の居住地の地形、住宅構造、家族構成等には違いがあるため、適切な避難行動、避難のタイミングは各居住者で異なります。災害の種類別に自宅等が立退き避難を必要とする場所なのか、あるいは、上階への移動等で命に危険が及ぶ可能性がなくなるのか、あらかじめ確認することが必要です。

○どのような色覚の方にも比較的見分けやすいように配慮した配色としています。

令和4年4月 遠野市

